

令和5年度定時総会資料

令和5年6月12日

東三河懇話会

令和5年6月12日（月）
於：ホテルアークリッシュ豊橋

東三河懇話会
令和5年度定時総会次第

- 15:00～15:45 **定時総会** 5階「ザ・グレイス」
議案1. 令和4年度事業報告並びに収支決算報告の件
議案2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件
議案3. 役員変更の件
- 15:50～17:00 **記念講演** 5階「ザ・グレイス」
講師：愛知県知事 大村秀章氏
演題：「日本一元気な愛知をつくる」
- 17:10～18:00 **交流懇親パーティー** 4階「ザ・テラスルーム」

※定時総会・記念講演は、通常開催に加えてWEB配信を実施

議案1. 令和4年度事業報告並びに収支決算報告の件

令和4年度事業報告

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う規制が徐々に緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが進む一方、ウクライナ情勢によるエネルギー資源や食料品を中心とした物価上昇、円安等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状態が続きました。

このような状況のなか、産学官民交流事業における「東三河産学官交流サロン」、「東三河午さん交流会」は、ウィズコロナを前提に感染防止対策を十分講じた上で、感染の拡がり状況によっては会食を中止し、会場レイアウトの変更やオンライン併用などの対応をとりながら、会員の皆さまの交流機会の創出継続に努めました。また、会員企業・団体の若手・女性社員を対象とした「東三河グローアップミーティング」を3回、産学官の若手メンバーによる東三河地域で顕在化している課題等をテーマとして議論し、地域への提言につなげる「産学官の新しいネットワークづくりのためのワーキング」では、人口問題を中心とした東三河地域の課題についてワーキングを通じた理解の促進と意見交換を4回開催しました。その他、国際芸術祭「あいち2022」組織委員会の大林剛郎会長を招聘したアートによるまちづくりをテーマとした特別講演会、並びに現地会場の視察会を開催しました。

広域連携事業では、東三河地域のインフラ整備事業に関する情報提供・勉強の場として、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」、「三河港関連事業計画等説明会」を三河港振興会と共催で開催しました。また、6月の定時総会記念講演会において、元国土交通大臣 太田昭宏氏に『激変する世界情勢と日本の立ち位置～東三河の課題～』と題し、ビジネスにおける根本的な環境変化として、激変する世界情勢、ポストコロナの経済政策、日本の安全保障、東三河の課題や今後の展望についてご講演いただきました。その他、研究交流会・視察会を通して三河港の各種課題や将来のあるべき姿について専門家と会員の皆さまが意見交換を行う「三河港未来戦略会議」、フォーラムの開催やモニタリング調査などを通して東三河地域の生物多様性の保全に対する意識啓発と取組の活性化を図る「東三河生態系ネットワーク協議会」の事務局業務を担いました。

年明けには、新春恒例の「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」を開催し、『東三河振興ビジョン2030を受けて今後重点的に取り組むこと』をテーマに、ゲストパネラーに湖西市長を迎えてパネルディスカッションを行うとともに、東三河県庁と共催の「大都市企業×東三河企業 マッチングトークセッション」の実施や、中部経済同友会および浜松経済同友会と共催の「三遠南信地区地域懇談会」の実施準備を行うなど、行政や地域経済団体との連携強化に努めました。

会員サービス事業では、毎月1回、会員向けの「メールマガジン」を発行するとともに、ウェブサイトの「会員専用ページ」における会員関連情報などの特定情報の掲載に加え、会員の皆さまからいただいた各種情報をタイムリーにホームページに掲載しました。

ウクライナ情勢の長期化の懸念、原材料費やエネルギー価格の高騰、物価上昇に伴う消費マインドの低下など先が見通せない状況が続いておりますが、新年度も会員の皆さまのニーズを的確に受け止め、事業運営に活かしていくとともに、新しい時代に即した地域づくりを推進していくため、産学官民連携強化と交流促進に一層力を注いでまいります。会員の皆さまにおかれましては、今後も積極的なご参加をお願い申し上げます。

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン

コロナ禍が続いていたが、状況に応じて会食を中止するなどの対応を行い、オンラインを併用して12回開催した。産学官民の交流連携、情報交換の場を提供するため、時流に沿ったテーマを設定(上期:自然・資源・科学・IoT、下期:循環型社会)の上、東三河の産学官民の講師を招聘し、会員に向けてタイムリーな情報を発信した。

(第450回～461回 詳細後記)

②東三河午さん交流会

こちらもコロナ禍の状況に応じて、会場レイアウトを変更するなどの対応を行い、予定通り10回開催した。東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行った。

(第221回～230回 詳細後記)

③東三河グローアップミーティング

若手会員相互の新しいつながりや、地域づくりを考えることからの学びと自己成長を目的としたミーティングを3回開催した。

(詳細後記)

④産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング

2021年度に議論を重ねた「農業の担い手不足・労働力不足問題」に関する報告書を作成しホームページに掲載した。2022年度は、産学官の若手メンバーを新たに集め、地域で顕在化している課題等をテーマに討論するワーキングを4回開催。『人口減少問題』を中心に考察と意見交換を行った。

(詳細後記)

⑤特別講演会

5月に、国際芸術祭「あいち2022」組織委員会会長の大林剛郎氏(株式会社大林組代表取締役会長)を招聘して、特別講演会を開催した。

(詳細後記)

⑥視察会

9月に、国際芸術祭「あいち2022」の現地視察会を実施した。

(詳細後記)

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業として、東三河地域における共通の課題・テーマにおいて、本年度より東三河8市町村長にゲストパネラーとして湖西市長を加え、パネルディスカッションを実施した。『東三河振興ビジョン2030を受けて今後重点的に取り組むこと』をメインテーマと

して、東三河の将来の展望や各市町村の役割など、活発な議論が行われた。なお、地元ケーブルテレビ3局による生中継、YouTubeを活用したオンライン配信を実施した。

(詳細後記、会報誌MIKAWA-NAVI特別号に掲載)

②三河港未来戦略会議

『海運ロジスティクス変動と港湾に期待される役割』、『脱炭素社会に向けた産業の動向と港湾の目指すべき姿』をテーマに研究交流会を2回開催した。

また、11月には「名古屋港およびASEC視察会」を実施した。

(詳細後記)

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs(持続可能な開発目標)の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさも守ろう」を中心に活動を展開した。今年度は、交付金対象事業として月例役員会のほか、リーフレット活用による「協議会への参加呼び掛け」の取組、8月に「自然観察バスツアー」、11月に豊川市で「東三河生態系ネットワークフォーラム2022」、同じく11月に「参加団体活動見学会」を開催するなど、生態系保全の重要性について理解を深めていただく活動を行った。

④地域インフラ事業の説明会

令和4年7月に「三河港関連事業計画等説明会」をオンラインにて、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」を会場とオンラインにて、三河港振興会と共催した。

(詳細後記)

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、東三河県庁等との連携・協力により、会員交流や産学官民連携に向けたセミナーや講演会などの取組を実施した。

(詳細後記)

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会員サービス事業では、ウェブサイトの「会員専用ページ」に、会員関連情報などの特定情報を閲覧できるよう提供した。また、会員の皆さまからの有用な情報をタイムリーに本会のホームページに無償で掲載するサービスを実施した。

②会員サービスの質的向上

公益社団法人東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実を進めた。

③「東三河地域問題セミナー」の支援

公益社団法人東三河地域研究センター主催で3回開催した。また、地元大学生による「東三河地域関連研究発表会」を開催した。

(詳細後記)

(4) 会員増強

○新入会

[法人会員] 4口

- ・株式会社ジュトク
- ・株式会社CBCテレビ
- ・中京テレビ放送株式会社
- ・東海テレビ放送株式会社

[個人会員] 4口

- ・中野 房子
- ・宮澤佐知子
- ・関 健一郎
- ・梅田 早苗

(敬称略)

運営の部

1. 定時総会

令和4年6月13日(月) 15:00～17:00

於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス

・議事

議案1. 令和3年度事業報告並びに収支決算報告の件

議案2. 令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の件

議案3. 細則一部改定の件

議案4. 役員改選の件

・記念講演 元国土交通大臣 太田昭宏氏

「激変する世界情勢と日本の立ち位置 ～東三河の課題～」

出席者：151名(オンライン26名含む：講演後、交流懇親パーティー実施)

2. 理事会

令和4年5月17日(火) 11:00～11:40

於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス(オンライン配信も実施)

3. 会員数及び口数の状況

(1) 入会	法人会員	4社	(4口)	
	個人会員	4名	(4口)	
	特別会員		(1口)	※豊橋市副市長分
退会	法人会員	1社	(2口)	
	減口	法人会員	(1口)	
	特別会員		(1口)	※豊川市副市長分(下期)
	推薦会員	1名	(—)	

(2) 令和5年3月31日現在 会員数

法人会員	157社	(186口)
個人会員	6名	(6口)
特別会員	12団体	(29口)
推薦会員	1名	—

資料（事業の詳細）

1. 東三河産学官交流サロン 公益社団法人東三河地域研究センターと共催

（年 12 回、18:00～20:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5 階 ザ・グレイス）

第 450 回 R4.4.26 参加者 78 名（オンライン 11 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 学長特別補佐（社会連携担当） 教授 加藤 茂氏
「干潟を測る・知る」
- ・ジャパン・トゥエンティワン株式会社 執行役員 豊橋本社支配人 加藤正純氏
「宇宙ビジネスの可能性 ～衛星画像の解析が実現する新視点の水道インフラ管理～」

第 451 回 R4.5.24 参加者 76 名（オンライン 11 名含む）

- ・愛知大学 地域政策学部 教授 藤井吉隆氏
「食農環境コースの開設と開設後 4 年間の取り組み」
- ・設楽町長 土屋 浩氏
「設楽町が新たなステップへ踏み出すために
～設楽ダムを活用した持続可能なまちを目指して～」

第 452 回 R4.6.28 参加者 65 名（オンライン 11 名含む）

- ・豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 准教授 松岡常吉氏
「固体燃料におけるパターン形成現象とその応用」
- ・株式会社糶屋三左衛門 代表取締役社長 村井裕一郎氏
「製造業から文化創造業へ ～若者・女性が集まる東三河へ向けた新産業創出～」

第 453 回 R4.7.19 参加者 88 名（オンライン 15 名含む）

- ・愛知大学 地域政策学部 教授 蔣 湧氏
「地域研究のためのデータサイエンス手法と事例」
- ・新城市長 下江洋行氏
「しんしろツーリズム ～地域資源を活かして～」

第 454 回 R4.8.23 参加者 83 名（オンライン 19 名含む）※会食中止

- ・豊橋技術科学大学 副学長／大学院工学研究科 教授 井上隆信氏
「水道を取り巻く状況とスマートメーターの可能性」
- ・ユタカコーポレーション株式会社 代表取締役社長 大塩啓太郎氏
「東三河をゆたかにするために ユタカサービスグループの移り変わり
～製造業からサービス業、そしてその先へ～」

第 455 回 R4.9.20 参加者 66 名（オンライン 19 名含む）※会食中止

- ・一般社団法人中部 SDGs 推進センター 代表理事 戸成司朗氏
「SDGs を羅針盤に企業の持続可能戦略を考える ～未来から選ばれる企業になるために～」

第 456 回 R4.10.18 参加者 54 名（オンライン 6 名含む）
・豊橋技術科学大学 機械工学系 准教授 佐野滋則氏
・三信建材工業株式会社 代表取締役社長 石田敦則氏
「吊下型外壁昇降ロボット NOBORIN の開発 ～大学との共同研究の進め方～」(※共同講演)

第 457 回 R4.11.15 参加者 58 名（オンライン 8 名含む）
・愛知工科大学 工学部情報メディア学科 助教 神邊篤史氏
「感性データ分析に基づく新製品開発」
・NTT 西日本株式会社 ビジネス営業本部 エンタープライズビジネス営業部
デジタルデータビジネス担当課長 松本貴裕氏
「地域と共に歩む DX 取組のご紹介 ～LINKSPARK NAGOYA での事例～」

第 458 回 R4.12.12 参加者 61 名（オンライン 5 名含む）
・豊橋技術科学大学 機械工学系 准教授 横山誠二氏
「電気炉スラグの有効活用」
・日東電工株式会社 理事／基盤機能材料事業部門・豊橋事業所長 井田 太氏
「強靱な企業体質の実現に向けて」

第 459 回 R5.1.17 参加者 59 名（オンライン 10 名含む）
・愛知大学 経営学部 教授 富増和彦氏
「CSR と付加価値会計」
・株式会社デンソー 環境ニュートラルシステム開発部 システム開発室 室長 駒形和也氏
「未来を支える CO2 利活用におけるデンソーの技術」

第 460 回 R5.2.21 参加者 80 名（オンライン 12 名含む）
・豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 講師 東海林孝幸氏
「救急搬送データを用いた豊橋市の熱中症被害の実態調査と対策」
・加山興業株式会社 代表取締役社長 加山順一郎氏
「サーキュラーエコノミーと脱炭素の両立」

第 461 回 R5.3.14 参加者 69 名（オンライン 13 名含む）
・豊橋創造大学 経営学部 経営学科 教授 見目喜重氏
「太陽光発電と循環型社会
～東三河の太陽光発電の優位性と太陽光パネルのリサイクル～」
・有限会社環境テクシス 代表取締役社長 高橋 慶氏
「食糧高・資源高の時代における食品リサイクルの取り組み」

2. 東三河午さん交流会 公益社団法人東三河地域研究センターと共催

(年 10 回、5、1 月を除く毎月第 1 金曜日を原則 11:30～13:00

於：ホテルアークリッシュ豊橋 4 階 ザ・テラスルーム)

第 221 回 R4.4.1 参加者 29 名
・公益財団法人豊橋みどりの協会 河邊 誠氏
「木と人のきずなからつくる豊かな暮らし」

第222回 R4.6.3 参加者27名

- ・書道家／夏目書道教室主宰 夏目珠翠氏
「ことばで心を豊かに ～書道 × SNS で自分らしく輝く人を増やしたい～」

第223回 R4.7.1 参加者33名

- ・豊根村地域おこし協力隊 濱田英一氏
「私達は普段何を食べているのか？肉牛を通して共有したい『いただきます』の意味」

第224回 R4.8.5 参加者42名

- ・合同会社新城キックリズ 代表社員 田實健一氏
「欠点材？新たな可能性を生み出す枝虫材」

第225回 R4.9.2 参加者38名

- ・株式会社フェニックス 代表取締役社長 牛尾信介氏
「地元スポーツの構造やスポーツビジネス論」

第226回 R4.10.7 参加者35名

- ・たはら暮らし定住・移住サポーター 小川 史氏
「田原市とサーフィンと私 ～サーフィンが日常になるたはら暮らし～」

第227回 R4.11.4 参加者25名

- ・特定非営利活動法人ひとすじの会 事務局長 杉浦博人氏
「群像劇『神野新田物語』～逆境に生きた人々～」

第228回 R4.12.2 参加者31名

- ・音羽米を育てる研究会 副会長 鈴木晋示氏
「ソーラーシェアリングを利用したお米作り」

第229回 R5.2.3 参加者40名

- ・株式会社西川時計店 専務取締役 成岡智人氏
「穂の国をコンセプトにしたブライダルブランド」

第230回 R5.3.3 参加者32名

- ・AMS amano musical studio 代表 天野陽一氏
「華麗なるミュージカルの世界？」

3. 東三河グローアップミーティング

(1) 第6回 (R4.4.21 18:00～20:00 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

講師：一級建築士事務所 建築クロノ 代表

大豊商店街 (大豊協同組合) 代表理事 黒野有一郎氏

演題：「これからの“商環境”を商店街から考える」

参加者：33名 (オンライン4名含む)

(2) 第7回(視察会 R4.7.22 9:00~17:30)

視察①:新東工業株式会社 豊川製作所

視察②:設楽ダム建設工事現場

参加者:20名

(3) 第8回(R4.10.25 18:00~20:00 於:emCAMPUS FOOD 1階 レストラン)

講師:株式会社道の駅とよはし副駅長/合同会社バンザイ代表 吉開仁紀氏

演題:「メソッド伝授!商品の魅力を伝える言葉とシカケ」

参加者:21名(オンライン4名含む)

4. 産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング

【メンバー】

豊橋市 企画部 政策企画課 主任 藤井宏幸氏

豊川市 総務部 財産管理課 朝倉源希氏

蒲郡市 企画部 企画政策課 サーキュラーシティ推進室 杉浦太律氏

新城市 企画部 市民自治推進課 主事 丸山征哉氏

田原市 企画部 企画課協働係 下形めぐみ氏

愛知県 東三河総局 企画調整部 企画調整課 主査 今泉 誠氏

東三河広域連合 総務課 主事 滝川陽紀氏

株式会社サーラコーポレーション 経営戦略本部 総合企画部 総合企画グループ 杉山 聖氏

中部電力パワーグリッド株式会社 豊橋営業所 配電運営課 山田惇敬氏

豊橋信用金庫 総合企画部 千葉堂能氏

豊橋鉄道株式会社 財務部 係長 浦部充由氏

NTT ビジネスソリューションズ株式会社 光ビジネス営業部門 東海営業担当 吉田拓也氏

株式会社三井住友銀行 豊橋法人営業部 部長代理 田中 聖氏

公益社団法人東三河地域研究センター 高橋大輔、佐藤克彦

東三河懇話会 福田裕之、奥田 健

(1) 第1回討論(R4.11.30 17:00~19:30 於:emCAMPUS FOOD 1階 レストラン)

討論テーマ:「東三河の課題について」

(2) 第2回勉強会・討論(R5.1.24 15:00~17:00 於:emCAMPUS STUDIO 5階 ROOM#01)

講師:愛知県 東三河総局 企画調整部 企画調整課 主査 今泉 誠氏

講演テーマ:「東三河振興ビジョン2030について」

(3) 第3回勉強会・討論(R5.2.22 15:00~17:00 於:emCAMPUS STUDIO 5階 ROOM#01)

講師:東三河広域連合 総務課 主事 滝川陽紀氏

講演テーマ:「東三河創生戦略について」

- (4) 第4回討論 (R5.3.22 15:00～17:00 於：豊橋鉄道ターミナルビル 1階 TB1F-C 会議室)
討論テーマ①：「現状の人口減少問題への対応策」
討論テーマ②：「人口減少を受入れ、東三河地域が住みやすく持続可能な地域になるためには」

5. 特別講演会

特別講演会 (R4.5.9 17:00～18:30 於：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース)
講師：国際芸術祭「あいち2022」組織委員会 会長 大林剛郎氏
演題：「アートが街と暮らしを創り出す ～文化のちから～」
参加者：81名 (オンライン10名含む)

6. 視察会

視察会 (R4.9.28)
視察先：国際芸術祭「あいち2022」愛知芸術文化センター会場、一宮市会場
参加者：18名

7. 令和5年 東三河8市町村長を囲む新春懇談会

(R5.1.6 14:30～17:30 於：ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)
テーマ：「東三河振興ビジョン2030を受けて今後重点的に取り組むこと」
内容：東三河8市町村長、湖西市長(ゲストパネラー)によるパネルディスカッション

【パネリスト】

豊橋市長	浅井由崇氏
豊川市長	竹本幸夫氏
蒲郡市長	鈴木寿明氏
新城市長	下江洋行氏
田原市長	山下政良氏
設楽町長	土屋 浩氏
東栄町長	村上孝治氏
豊根村長	伊藤 実氏
湖西市長	影山剛士氏 (ゲストパネラー)

【コーディネーター】

豊橋技術科学大学 前学長/東京大学 名誉教授 大西 隆氏

参加者：149名 (YouTube 同時刻内視聴回数 173回)

※17:30～ 賀詞交歓会 (120名参加)

8. 三河港未来戦略会議

- (1) 第23期報告総会・記念講演会 (R4.6.29 16:00～17:30 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)
講師：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長 嶋原 茂氏
演題：「港湾行政の動向と三河港の港湾整備事業について」
出席者：38名

(2) 第63回研究交流会

(R4.9.30 14:00～16:00 於：豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講 師：東海大学 海洋学部 海洋理工学科 航海学専攻 教授 合田浩之氏

演 題：「海運ロジスティクス変動と港湾に期待される役割

～完成車・コンテナを題材として～

参加者：37名

(3) 視察会 (R4.11.16 8:50～17:30)

視察先：名古屋港 (船より港湾内を視察)

公益財団法人愛知県臨海環境整備センター (A S E C)

参加者：17名

(4) 第64回研究交流会

(R5.2.8 14:00～16:00 於：豊橋市民センターカリオンビル 6階 多目的ホール)

講 師：愛知工業大学 総合技術研究所 教授 近藤元博氏

演 題：「脱炭素社会に向けた産業の動向と港湾の目指すべき姿

～三河港の新たな役割と連携の在り方～

参加者：32名

9. 講演会、懇談会等

(1) 令和4年度 東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会 [三河港振興会と共催]

(R4.7.4 13:30～15:30 於：ライフポートとよはし コンサートホール)

講 師：国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所長	桑 昌司氏
国土交通省 中部地方整備局 浜松河川国道事務所長	名久井孝史氏
国土交通省 中部地方整備局 設楽ダム工事事務所長	真鍋将一氏
愛知県 東三河建設事務所長	白村 暁氏
愛知県 新城設楽建設事務所長	原 勝氏

参加者：178名 (オンライン38名含む)

(2) 令和4年度 三河港関連事業計画等説明会 [三河港振興会と共催]

(R4.7.8～：YouTubeに動画をアップロード)

説明者：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所長 嶋原 茂氏
愛知県 三河港務所
三河港振興会 事務局

(3) 大都市企業×東三河企業 マッチングトークセッション [東三河県庁と共催]

第1回 (R5.2.20 15:00～17:00 於：emCAMPUS STUDIO 5階 ROOM#01)

参加者32名 (オンライン13名含む)

講 師：株式会社ロフトワーク 顧問 矢橋友宏氏
株式会社ロフトワーク プロデューサー 山田富久美氏
株式会社糺屋三左衛門 第二十九代当主 村井裕一郎氏

第2回 (R5.2.27 15:00～17:00 於: emCAMPUS STUDIO 5階 ROOM#01)

参加者 48名 (オンライン 19名含む)

講師: 株式会社シグマックス プリンシパル 福世明子氏

中部ガス不動産株式会社 代表取締役社長 赤間真吾氏

ホテルアークリッシュ豊橋 総料理長 今里 武氏

(4) 公益社団法人東三河地域研究センター 総会・記念講演会

(R4.11.22 15:00～17:30 於: ホテルアークリッシュ豊橋 5階 ザ・グレイス)

講師: 経済産業省 中部経済産業局 局長 田中耕太郎氏

演題: 「中部地域の産業の展望と課題」

出席者: 89名 (オンライン 21名含む)

10. 東三河地域問題セミナー (主催: 公益社団法人東三河地域研究センター)

(1) 第1回公開講座 (R4.7.8 14:00～16:30 於: 豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師: 株式会社クレアン 総合企画グループ グループマネージャー 安藤正行氏

演題: 「SDGsを企業経営、自治体・地域の活動にどう組み込んでいくか」

参加者: 20名

(2) 第2回公開講座 (R4.7.26 14:00～16:30 於: 豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師: 京都府立大学 生命環境科学研究科

生命環境学部 環境デザイン学科 准教授 荒木裕子氏

演題: 「大規模災害に備える、地域防災力向上の考え方」

参加者: 25名

(3) 第3回公開講座 (R4.8.26 14:00～16:30 於: 豊橋商工会議所 4階 406会議室)

講師: 名古屋大学 大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター

臨床環境学コンサルティングファーム部門 教授 高野雅夫氏

演題: 「中山間地の持続可能な地域づくり ～愛知県や岐阜県での取り組みを事例に～」

参加者: 26名

11. 東三河地域関連研究発表会 (主催: 公益社団法人東三河地域研究センター)

第29回東三河地域関連研究発表会 (R5.3.9 13:00～16:00 於: emCAMPUS STUDIO 5階 ROOM#01)

参加者: 29名 (オンライン 5名含む)

12. 各種団体、調査委員会等への参加、協力

- (1) 一般社団法人中部経済連合会
- (2) 公益財団法人中部圏社会経済研究所
- (3) 一般財団法人東海産業技術振興財団
- (4) 一般社団法人奥三河ビジョンフォーラム
- (5) 愛知県港湾協会
- (6) 三河港振興会
- (7) 豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会
- (8) 伊勢湾再生海域検討会
- (9) 東三河生態系ネットワーク協議会
- (10) 特定非営利活動法人穂の国森づくりの会
- (11) 特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム
- (12) 東三河流域フォーラム
- (13) 一般国道151号改良促進期成同盟会
- (14) 豊橋みなとフェスティバル実行委員会
- (15) 一般社団法人豊橋観光コンベンション協会
- (16) 公益財団法人豊橋市国際交流協会
- (17) 公益財団法人豊橋文化振興財団
- (18) 豊橋日独協会
- (19) とよはし市電を愛する会
- (20) 豊橋市民愛市憲章推進協議会
- (21) 530運動環境協議会
- (22) 愛知県地球温暖化防止活動推進センター

収支決算報告

令和4年度
収支決算書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

収入決算額	34,022,640円
支出決算額	31,843,209円
差引残高	2,179,431円

《 収入の部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 会費収入	24,900,000	25,011,000	111,000	100.4%	
1) 法人会費	22,320,000	22,380,000	60,000	100.3%	
2) 個人会費	240,000	330,000	90,000	137.5%	
3) 特別会費	2,340,000	2,301,000	△ 39,000	98.3%	
2. 事業収入	5,273,000	4,394,578	△ 878,422	83.3%	
1) 産学官交流サロン	3,080,000	2,613,578	△ 466,422	84.9%	
2) 午さん交流会	1,113,000	1,308,000	195,000	117.5%	
3) 新春懇談会	630,000	257,000	△ 373,000	40.8%	
4) その他の事業	450,000	216,000	△ 234,000	48.0%	
3. その他の収入	2,380,200	2,524,537	144,337	106.1%	
1) 特定預金取崩収入	600,000	600,000	0	100.0%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	600,000	600,000	0	100.0%	
2) 雑収入	1,780,200	1,924,537	144,337	108.1%	
① 受取利息	200	137	△ 63	68.5%	
② 雑収入	1,780,000	1,924,400	144,400	108.1%	
当期収入合計	32,553,200	31,930,115	△ 623,085	98.1%	(A)
前期繰越収支差額	2,092,525	2,092,525	0	100.0%	
収入合計	34,645,725	34,022,640	△ 623,085	98.2%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	予算額(1)	決算額(2)	差異(2)-(1)	予算比	備 考
1. 運営事業費	1,650,000	1,110,146	△ 539,854	67.3%	
1) 総会・理事会費	850,000	701,503	△ 148,497	82.5%	
2) 広報費	540,000	331,989	△ 208,011	61.5%	会報誌発行
3) 講演・説明会費	260,000	76,654	△ 183,346	29.5%	
2. 事業費	6,700,000	5,366,950	△ 1,333,050	80.1%	
1) 産学官交流サロン	3,360,000	3,073,432	△ 286,568	91.5%	
2) 午さん交流会	1,300,000	1,168,879	△ 131,121	89.9%	
3) 新春懇談会	950,000	553,920	△ 396,080	58.3%	
4) その他の事業	1,090,000	570,719	△ 519,281	52.4%	
3. 調査・研究費	11,420,000	11,295,570	△ 124,430	98.9%	
1) 調査・研究費	8,300,000	8,337,000	37,000	100.4%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,120,000	2,958,570	△ 161,430	94.8%	
4. 管理費	12,668,000	12,314,278	△ 353,722	97.2%	
1) 給料手当	6,200,000	6,229,739	29,739	100.5%	
2) 福利厚生費	1,130,000	1,062,149	△ 67,851	94.0%	
① 福利厚生費	110,000	16,578	△ 93,422	15.1%	
② 法定福利費	1,020,000	1,045,571	25,571	102.5%	
3) 会議費	10,000	7,620	△ 2,380	76.2%	
4) 旅費交通費	48,000	36,650	△ 11,350	76.4%	
5) 通信運搬費	600,000	515,842	△ 84,158	86.0%	通信機器リース料含む
6) 消耗品費	760,000	474,441	△ 285,559	62.4%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	760,000	474,441	△ 285,559	62.4%	OA機器リース料含む
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	60,000	58,300	△ 1,700	97.2%	総会資料
9) 新聞・図書費	180,000	236,240	56,240	131.2%	
10) 水道光熱費	272,000	328,520	56,520	120.8%	
11) 賃借料	2,958,000	2,956,800	△ 1,200	100.0%	事務所賃借料
12) 交際費	36,000	13,204	△ 22,796	36.7%	
13) 諸会費	354,000	353,000	△ 1,000	99.7%	他団体の年会費等
14) 雑費	60,000	41,773	△ 18,227	69.6%	
5. その他の支出	56,265	1,756,265	1,700,000	3121.4%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	56,265	1,756,265	1,700,000	3121.4%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	0	100.0%	
② 財政調整引当預金	0	1,700,000	1,700,000	0.0%	
当期支出合計	32,494,265	31,843,209	△ 651,056	98.0%	(C)
当期収支差額	58,935	86,906	27,971		(A) - (C)
次期繰越収支差額	2,151,460	2,179,431	27,971		(B) - (C)

貸借対照表

令和5年3月31日 現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
(1)現金	23,024		
(2)預金	3,127,268		
(3)未収入金	387,190		
(4)前払金	246,400		
流動資産合計		3,783,882	
2. 固定資産			
(1)設備什器備品	126,601		
(2)電話加入権	213,000		
(3)敷金	2,688,000		
(4)減価償却引当特定預金	2,695,604		
(5)事務所移転費用積立預金	200,000		
(6)財政調整引当預金	2,798,000		
固定資産合計		8,721,205	
資産合計			12,505,087
II. 負債の部			
1. 流動負債			
(1)未払金	594,122		
(2)預り金	761,472		
流動負債合計		1,355,594	
負債合計			1,355,594
III. 正味財産の部			
正味財産			11,149,493
(うち当期正味財産増加額)			(1,186,906)
負債及び正味財産合計			12,505,087

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	86,906	
減価償却引当特定預金増加額	56,265	
財政調整引当預金増加額	1,700,000	
資産増加額計		1,843,171
2. 負債減少額		
負債減少額	0	0
増加額合計		1,843,171
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
什器備品減価償却額	56,265	
財政調整引当預金減少額	600,000	
資産減少額計		656,265
2. 負債増加額		
負債増加額	0	0
減少額合計		656,265
当期正味財産増加額		1,186,906
前期繰越正味財産額		9,962,587
期末正味財産合計額		11,149,493

監 査 報 告 書

東 三 河 懇 話 会
会長 神野 吾郎 殿

東三河懇話会の、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその他の計算書類、関係帳簿を監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和5年5月8日

東 三 河 懇 話 会

監 事 豊橋信用金庫 副理事長

市 川 智 嗣 印

監 事 株式会社三菱UFJ銀行 豊橋支店長

近 藤 崇 印

監 事 中部電力パワーグリッド株式会社 豊橋営業所長

牧 眞 司 印

< 参 考 >

三河港未来戦略会議 第24期収支決算書

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
会費収入	1,290,000	1,290,000	0	100%	
研究交流会収入	0	0	0	0%	
事業収入	90,000	39,000	-51,000	43%	
雑収入	20	9	-11	45%	
当期収入合計	1,380,020	1,329,009	-51,011	96%	
前期繰越収支差額	292,752	292,752	0	100%	
収入合計	1,672,772	1,621,761	-51,011	97%	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額(a)	決算額(b)	差異(b-a)	対予算比率(b/a)	備考
総会費	70,000	43,617	-26,383	62%	
研究交流会費	380,000	114,402	-265,598	30%	
事業費	430,000	350,680	-79,320	82%	
運営費	500,000	500,000	0	100%	
予備費	292,772	0	-292,772	0%	
当期支出合計	1,672,772	1,008,699	-664,073	60%	
次期繰越収支差額	0	613,062	613,062	0%	

議案2. 令和5年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の件

令和5年度事業計画（案）

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

1. 基本方針

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行され、経済との両立が本格化していくことが予想されます。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中国とアメリカの覇権争い、グローバルサウスの台頭など、国際情勢は大きな転換期を迎えていることに加え、国内においては、人口減少や少子高齢化、人手不足、社会保障費の拡大、財政赤字、エネルギー問題、デジタル化やグローバル化への対応など、構造的課題が山積しており、当地域における企業活動や消費活動にも少なからず影響が及ぶことが懸念されます。

このような状況下において、地域課題の解決から新たな価値を創造し、住民本位で持続的発展が可能な地域社会の実現を目指す取組が必要となっています。また、企業の事業継続や持続的成長のため、地域の人的資源の有効活用に加え、高度なデジタル技術を取り入れたサービスや新製品の開発、新規事業の立ち上げ、スタートアップ企業との連携など多彩な取組が求められています。

今年度はこうした背景を踏まえ、「東三河産学官交流サロン」をはじめとする産学官民交流事業につきましては、持続可能な地域を実現するために、“少子高齢化問題”に対応した視点でテーマを設定し、必要に応じてオンラインも併用しながら講演会や視察会等の事業を推進してまいります。また、「産学官の新しいネットワークづくりのためのワーキング」では、東三河地域の課題や将来あるべき姿についてテーマを設定し、意見交換・討論を進めていくとともに、行政サイドとの定期的な情報交換を行うことで、これまで以上に連携・協力体制の強化に努めてまいります。

広域連携事業につきましては、関係機関との良好な関係を保持するとともに、「東三河8市町村長を囲む新春懇談会」、「東三河に係る地域インフラ事業説明会」、「三河港未来戦略会議」における研究交流会や視察会、また地域づくりにつながる「特別講演会」の開催などを通じて、会員の皆さまに有用な情報を提供してまいります。

会員サービス事業につきましては、ホームページにおけるタイムリーな情報提供に加え、本会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取組を継続してまいります。その他、会員の皆さまへのアンケートやヒアリングによる本会の事業活動に対するニーズの把握、公益社団法人東三河地域研究センターとの連携強化、並びにデータベース化の推進に努めてまいります。

まだまだ先行きが不透明な状況が続きますが、今後も会員の皆さまとの結束力を一層高めながら、界を超えた地域のつながりを進めるネットワークセンターの役割を果たし、「東三河はひとつ」を合言葉に、未来に向けた地域づくりを鋭意進めていく所存です。

2. 事業計画

(1) 産学官民交流事業

①東三河産学官交流サロン（12回／年）

産学官民の交流連携、情報交換の場をオンライン併用にて提供。半期ごとにテーマを設け、東三河の産学官民の講師や外部講師を招聘し、会員にとって「知」の場となるタイムリーな情報を発信する。また、新しい企画、質疑応答やアンケートの実施などにより、会員との双方向のコミュニケーション促進を図る。

②東三河午さん交流会（10回／年）

地域に密着したさまざまな話題をピックアップ。主に、東三河において社会活動や文化芸術活動を実践し、地域づくりに貢献されている方々を紹介し、会員への情報発信を行う。

③東三河グローアップミーティング（4回／年）

本会会員の次世代を担う人材の育成と、地域の価値を発見・認識することによる地域への理解や愛着を深めることを目的とし、「地域の価値を見つけてひらく」をテーマに、講演会・勉強会等を通じて学び、成長したいと考えている方々が集い、交流する場を創出する。本年度はemCAMPUSと協力をを行い、本会の会員の若手メンバーと、会員外団体等の若手との交流機会を設けることにより、地域の人材ネットワークの充実を図る。

④産学官による新しいネットワークづくりのためのワーキング（10回／年）

前年度より、当地域の主要自治体および公共性の高い企業などから将来を担う若手メンバーを集め、地域全体の課題や問題点をフリーディスカッションで討論しているが、本年度はテーマの絞り込みを行い、提言として取りまとめることを目的としたワーキングを開催する。

⑤特別講演会

デジタルツールの活用や人的資源の活用方法など、経済社会環境の変化に対応し、東三河地域の持続的な発展のヒントとなる内容の講演会を検討、実施する。

⑥視察会

コロナ禍の影響を勘案しつつ、経済社会環境の変化や、東三河において話題となっている地域テーマを選定し、東三河地域の持続的な発展や、広域的な連携の参考となる場所、施設等の視察会開催を検討、実施する。

(2) 広域連携事業

①東三河8市町村長を囲む新春懇談会

新春恒例の事業。東三河地域における共通の課題・テーマに関し、東三河8市町村長にゲストパネラーとして湖西市長を加えたパネルディスカッションにより、東三河のこれからの姿を展望するとともに、会員をはじめ地域住民に広く情報発信する。

②三河港未来戦略会議

三河港振興会・自動車港湾委員会等と連携をとりながら研究活動を計画。三河港を中心として、広域幹線道路などの広域インフラの整備、DX化等による効率化、カーボンニュートラルポートの形成や経済活動などに関わる事業活動について、未来を見据えながら調査研究を進めるとともに、研究テーマに関わる研究交流会・視察会の開催、ニューズレターの発行、会員企業と連携したプロジェクトの検討、提案などを行う。

③東三河生態系ネットワーク協議会

東三河生態系ネットワーク協議会の事務局として、SDGs（持続可能な開発目標）の目標である「14.海の豊かさを守ろう」「15.陸の豊かさを守ろう」を中心に活動を展開し、自然とのふれあい体験事業や生態系フォーラムを開催するとともに、協議会加入団体の活動への支援・協力、並びに企業や団体の協議会への参加呼び掛けを実施する。

④地域インフラ事業の説明会

「三河港関連事業整備計画等説明会」、「東三河地区幹線道路整備計画に関する説明会」等を主催し、東三河地域で進むインフラ等の計画・進捗状況について、関係機関と連携しながら会員等に情報発信する。

⑤各種団体との連携・協力

中部経済同友会、浜松経済同友会、三河港振興会、東三河県庁等との連携・協力により、講演会の企画など会員交流や産学官民連携に向けた取組を推進する。

(3) 会員サービス事業

①広報活動の一層の推進

会報誌「MIKAWA—NAV I」（季刊）を本会ホームページに掲載する。
本会主催の各種催事の開催案内などを、本会ホームページでタイムリーに情報発信する。
(URL <https://www.konwakai.jp/>)

②会員（地域）情報の収集とメールマガジンによる発信

本会に関する事業計画や会員の皆さまからご提供いただいた情報を集約した「メールマガジン」を毎月発行する取り組みを継続するとともに、会員に有益な情報の発信に努める。

③会員名簿（令和5年度版）の発行

本会、並びに公益社団法人東三河地域研究センターの「会員名簿（令和5年度版）」について、7月を目途に紙ベースで発行する。

④会員意見の収集と運営への活用

会員へのアンケートや定期訪問等によるヒアリング調査を実施することで、地域づくりや本会の活動等に関するニーズを把握し、現状活動内容の見直しを行うことにより、会員にとってより価値のある事業運営を実現する。

⑤会員サービスの質的向上

公益社団法人東三河地域研究センターとの情報共有と連携強化を図り、同センターが保有するシンクタンク機能を活用し、会員にとって有益な産学官民交流および広域連携事業の充実を図る。また、本会ホームページに会員からの有用な情報を無償で掲載する。

⑥「東三河地域問題セミナー」の支援

東三河の現状と将来を考え、地域をリードする人材育成のための基礎的、専門的な知識を得る場として、公益社団法人東三河地域研究センターが主催する当該セミナーを会員内外に広く周知し、動員を図る。

(4) 会員増強

東三河の産学官交流の場としてのコミュニケーションセンター機能を充実させ、会員相互の交流による地域連携の有益性を訴求し、広く地域の方々に提議する。併せて、商工会議所、商工会の会員企業、青年会議所等他団体との交流を深め、本会に未加入の企業に対する勧誘活動を推進するなど、会員の増強を図る。

令和5年度
収 支 予 算 (案)
(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

《 収 入 の 部 》

(単位 : 円)

科 目	令和5年度	令和4年度	令和4年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 会費収入	25,260,000	25,011,000	24,900,000	101.4%	
1) 法人会費	22,560,000	22,380,000	22,320,000	101.1%	
2) 個人会費	360,000	330,000	240,000	150.0%	
3) 特別会費	2,340,000	2,301,000	2,340,000	100.0%	
2. 事業収入	5,218,000	4,394,578	5,273,000	99.0%	
1) 産学官交流サロン	2,800,000	2,613,578	3,080,000	90.9%	
2) 午さん交流会	1,314,000	1,308,000	1,113,000	118.1%	
3) 新春懇談会	270,000	257,000	630,000	42.9%	
4) その他の事業	834,000	216,000	450,000	185.3%	
3. その他の収入	3,308,190	2,524,537	2,380,200	139.0%	
1) 特定預金取崩収入	1,700,000	600,000	600,000	283.3%	
① 減価償却引当特定預金	0	0	0	0.0%	
② 財政調整引当預金	1,700,000	600,000	600,000	283.3%	
2) 雑収入	1,608,190	1,924,537	1,780,200	90.3%	
① 受取利息	190	137	200	95.0%	
② 雑収入	1,608,000	1,924,400	1,780,000	90.3%	
当期収入合計	33,786,190	31,930,115	32,553,200	103.8%	(A)
前期繰越収支差額	2,179,431	2,092,525	2,092,525	104.2%	
収入合計	35,965,621	34,022,640	34,645,725	103.8%	(B)

《 支 出 の 部 》

(単位：円)

科 目	令和5年度	令和4年度	令和4年度	前年	備 考
	予算額	決算額	予算額	予算比	
1. 運営事業費	1,545,000	1,110,146	1,650,000	93.6%	
1) 総会・理事会費	725,000	701,503	850,000	85.3%	
2) 広報費	420,000	331,989	540,000	77.8%	
3) 講演・説明会費	400,000	76,654	260,000	153.8%	
2. 事業費	7,279,000	5,366,950	6,700,000	108.6%	
1) 産学官交流サロン	3,360,000	3,073,432	3,360,000	100.0%	
2) 午さん交流会	1,262,000	1,168,879	1,300,000	97.1%	
3) 新春懇談会	650,000	553,920	950,000	68.4%	
4) その他の事業	2,007,000	570,719	1,090,000	184.1%	
3. 調査・研究費	11,420,000	11,295,570	11,420,000	100.0%	
1) 調査・研究費	8,420,000	8,337,000	8,300,000	101.4%	研究センター分(会費の1/3)
2) 研究・活動費	3,000,000	2,958,570	3,120,000	96.2%	
4. 管理費	12,973,300	12,314,278	12,668,000	102.4%	
1) 給料手当	6,347,000	6,229,739	6,200,000	102.4%	
2) 福利厚生費	1,172,000	1,062,149	1,130,000	103.7%	
① 福利厚生費	30,000	16,578	110,000	27.3%	
② 法定福利費	1,142,000	1,045,571	1,020,000	112.0%	
3) 会議費	10,000	7,620	10,000	100.0%	
4) 旅費交通費	48,000	36,650	48,000	100.0%	
5) 通信運搬費	590,000	515,842	600,000	98.3%	
6) 消耗品費	510,000	474,441	760,000	67.1%	
① 消耗什器備品費	0	0	0	0.0%	
② 消耗品費	510,000	474,441	760,000	67.1%	
7) 修繕費	0	0	0	0.0%	
8) 印刷製本費	210,000	58,300	60,000	350.0%	
9) 新聞・図書費	185,500	236,240	180,000	103.1%	
10) 水道光熱費	495,000	328,520	272,000	182.0%	
11) 賃借料	2,956,800	2,956,800	2,958,000	100.0%	
12) 交際費	36,000	13,204	36,000	100.0%	
13) 諸会費	353,000	353,000	354,000	99.7%	
14) 雑費	60,000	41,773	60,000	100.0%	
5. その他の支出	506,265	1,756,265	56,265	899.8%	
1) 固定資産購入支出	0	0	0	0.0%	
2) 特定預金繰入支出	506,265	1,756,265	56,265	899.8%	
① 減価償却引当特定預金	56,265	56,265	56,265	100.0%	
② 財政調整引当預金	450,000	1,700,000	0	0.0%	
当期支出合計	33,723,565	31,843,209	32,494,265	103.8%	(C)
当期収支差額	62,625	86,906	58,935		(A) - (C)
次期繰越収支差額	2,242,056	2,179,431	2,151,460		(B) - (C)

<参 考>

三河港未来戦略会議 第25期収支予算（案）

（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

収入の部

（単位：円）

科目	第25期予算	第24期予算	第24期決算	備考
会費収入	1,270,000	1,290,000	1,290,000	
研究交流会収入	0	0	0	
事業収入	600,000	90,000	39,000	
雑収入	20	20	9	
当期収入合計	1,870,020	1,380,020	1,329,009	
前期繰越収支差額	613,062	292,752	292,752	
収入合計	2,483,082	1,672,772	1,621,761	

支出の部

（単位：円）

科目	第25期予算	第24期予算	第24期決算	備考
総会費	70,000	70,000	43,617	
研究交流会費	380,000	380,000	114,402	
事業費	1,240,000	430,000	350,680	
運営費	500,000	500,000	500,000	
予備費	293,082	292,772	0	
当期支出合計	2,483,082	1,672,772	1,008,699	
次期繰越収支差額	0	0	613,062	

議 案 3. 役員変更の件

役 職	退 任	就 任
副会長	小池商事(株) 代表取締役社長 小池 高弘	(株)ニデック 代表取締役社長 小澤 素生
常任理事	(株)アイセロ 取締役会長 牧野 渉	(株)アイセロ 代表取締役社長 盛田 智
同		小池商事(株) 代表取締役社長 小池 高弘
同	サーラエナジー(株) 代表取締役社長 鳥居 裕	サーラエナジー(株) 代表取締役社長 鈴木 敬太郎
同	中部電力パワーグリッド(株) 岡崎支社長 桑原 靖和	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社長 小林 敏博
同	フォルクスワーゲングループジャパン(株) 監査役 菊地 啓一	
理事	鹿島建設(株) 専務執行役員中部支店長 片山 豊	鹿島建設(株) 執行役員中部支店長 秋田 大次郎
同	(株)トーエネック 豊橋営業所長 岡本 正二	(株)トーエネック 豊橋営業所長 池端 伸一
同	本多プラス(株) 会長 本多 克弘	本多プラス(株) 代表取締役社長 本多 孝充
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 栗林 徹	(株)三井住友銀行 豊橋支店長 浜守 基彰
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 小國 昌彦	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長 日野 恵里加
同	ユタカコーポレーション(株) 取締役会長 磯村 博宣	ユタカコーポレーション(株) 代表取締役社長 大塩 啓太郎

※任期は、令和6年度定時総会の終結の時までとする。

令和5年度 東三河懇話会役員名簿（案）

※太字は変更部分を示す

会 長	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長兼グループ代表・CEO	神野吾郎
副会長	(株)トヨタテック 代表取締役社長	小野喜明
同	(株)ニデック 代表取締役社長	小澤素生
同	イノチオホールディングス(株) 代表取締役社長	石黒 功
同	ヤマサちくわ(株) 代表取締役社長	佐藤元英
同	(株)田村組 代表取締役社長	田村太一
専任理事	東三河懇話会	福田裕之
常任理事	(株)アイゼロ 代表取締役社長	盛田 智
同	オーエスジー(株) 代表取締役会長兼CEO	石川則男
同	(株)オノコム 代表取締役会長	小野喬四朗
同	蒲郡信用金庫 理事長	竹田知史
同	小池商事(株) 代表取締役社長	小池高弘
同	壽鑛業(株) 取締役会長	河合利則
同	サーラエナジー(株) 代表取締役社長	鈴木敬太郎
同	新東工業(株) 取締役	久野恒靖
同	鈴与(株) 豊橋支店長	永田智大
同	(株)総合開発機構 代表取締役社長	前田英範
同	総合ポートサービス(株) 代表取締役社長	豊田正博
同	(株)大三コーポレーション 代表取締役	松井孝悦
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋支社長	小林敏博
同	(株)デンソー 豊橋製作所長	阿部守一
同	トピー工業(株) 豊橋製造所長	野秋明弘
同	豊川信用金庫 理事長	真田光彦
同	トヨタ自動車(株) 田原工場長	岡山真澄
同	豊橋鉄道(株) 代表取締役社長	小笠原敏彦
同	豊橋三菱ふそう自動車販売(株) 代表取締役会長	鈴木伊能勢
同	西島(株) 代表取締役社長	西島 豊
同	西日本電信電話(株) 東海支店ビジネス営業部 東三河営業支店長	宮本順子
同	日東電工(株) 理事豊橋事業所長	井田 太
同	丸利建設(株) 代表取締役	権田知宏
同	三菱ケミカル(株) 愛知事業所長	笠坊行生
理 事	アオキトランス(株) 取締役社長	小島泰樹
同	岡崎信用金庫 理事長	田中秀明
同	鹿島建設(株) 執行役員中部支店長	秋田大次郎

同	川北電気工業(株) 代表取締役社長	大津正己
同	(株)サーラホテル&レストランズ 取締役総支配人	梅岡浩昭
同	(株)静岡銀行 豊橋支店長	山本重雄
同	(株)清水銀行 代表取締役頭取	岩山靖宏
同	鈴与(株) 取締役会長	鈴木與平
同	(株)総合開発機構 代表取締役副社長	鈴木康史
同	総合埠頭(株) 代表取締役社長	廣瀨全洋
同	大成建設(株) 常務執行役員中部支店長	鈴木淳司
同	(株)中日新聞社 代表取締役社長	大島宇一郎
同	(株)中部 代表取締役社長	榎林孝尚
同	東海CS(株) 代表取締役社長	田中 猛
同	(株)トーエネック 豊橋営業所長	池端伸一
同	トピー海運(株) 代表取締役社長	志村 誠
同	(株)名古屋銀行 取締役頭取	藤原一朗
同	日本通運(株) 豊橋支店長	小島英史
同	本多プラス(株) 代表取締役社長	本多孝充
同	(株)三井住友銀行 豊橋支店長	浜守基彰
同	三井住友信託銀行(株) 豊橋支店長	日野恵里加
同	ユタカコーポレーション(株) 代表取締役社長	大塩啓太郎
監 事	豊橋信用金庫 副理事長	市川智嗣
同	(株)三菱UFJ銀行 豊橋支店長	近藤 崇
同	中部電力パワーグリッド(株) 豊橋営業所長	牧 眞司

(敬称略)

東三河懇話会

〒440-0888 豊橋市駅前大通3-53 太陽生命豊橋ビル2階

TEL (0532)55-5141 FAX (0532)56-0981

E-mail info@konwakai.jp

URL <https://www.konwakai.jp/>